

からきだ 菖蒲館

しょうぶかん



発行：2021年4月25日（隔月発行）
唐木田コミュニティセンター運営協議会
公式ホームページ：<https://karakida.org/>
メールアドレス：info@karakida.org

No.069
編集：広報部会

からきだ菖蒲館コンサート

◆ 5月15日(土) 17:30 開場 18:00 開演

会場：ロビー 入場料：¥500

定員：40名（要予約）

出演：ピアノ 石坂 奏

曲目：C.ドビュッシー アラベスク1番 映像2集

L.v.ベートーヴェン ピアノソナタ 第14番『月光』

F.リスト 3つの演奏会用練習曲より 第3曲『ため息』他

主催：文化部会



ピアニスト 石坂 奏 独奏の夕べ

■石坂 奏 (ピアノ)

多摩市出身。第29回市川市新人演奏家コンクール最優秀賞。第12回ルーマニア国際音楽コンクール第4位。7回野島稔・よこすかピアノコンクール入選。ピアノを杉田邦江、松浦 健、渡辺健二、江口玲の各氏に師事。現在、東京藝術大学大学院音楽研究科修士課程3年に在籍。



山神社の山岡鉄舟の幟

多摩の歴史さんぽ(26)

橋場万里子

「幕末の三舟」という言葉を聞かれたことはありますか？幕末から明治にかけて活躍した幕臣である勝海舟・山岡鉄舟・高橋泥舟の3名を指した言葉です。このうち山岡鉄舟(1836-1888)は徳川慶喜の使者として、江戸無血開城につながる西郷隆盛と勝海舟の会談のお膳立てをし、維新後は宮内省の官僚として明治天皇の側近となりました。剣術・禅・書にすぐれた人物としても有名です。

鉄舟は多摩を訪れたこともあり、関連資料が残されています。今回はそれを紹介しましょう。

多摩市桜ヶ丘にある山神社(やまじんじゃ)には、鉄舟の幟(のぼり)の下書きが残されています。書かれている文字は、『(落款)「江上青雲 山間明月」鎮守御祭禮 明治十五年壬午第九月 當村氏子中 正五位山岡鐵太郎拜書 (落款)「山岡高印」』とあり、明治15年(1882)に山神社の祭礼のための幟として記されたことがわかります。現地



山神社の現在の幟 2010年9月撮影 / 『消えた寺が語るもの』より

ではこの幟の制作エピソードが伝えられています。それによれば、あらかじめ依頼していたものではなく、鉄舟を自宅に泊めた際、お礼としてその家の庭

で書かれたものということです。筆が無かったので縄で記したという話が伝わっています。現在の山神社では、この下書きをもとに制作された幟が用いられています。

鉄舟の多摩来訪は、明治15年以前にも見られます。明治14年(1881)に、明治天皇は連光寺で兎狩りをおこないましたが、その狩猟にも鉄舟が供奉していたことが分かっています。鉄舟は明治15年6月に宮内省を辞任しますが、明治天皇の特命により終身宮内省御用掛となりました。山神社の幟はその年の9月に記されたものです。

書の達人と言われる鉄舟は、求められるままに書を与えたため、各地に膨大な鉄舟の書が残ります。鉄舟筆の神社の幟も多数ありますが、このように下書きと思われる書が残る、当時のエピソードも伝えられていることはやはり貴重なことといえるでしょう。(ちなみに、山神社と似た事例としては、埼玉県白岡市・高岩天満神社に、和紙に貼り付がれた鉄舟による幟の下書きの書が残る、白岡市指定文化財となっています。)

多摩と鉄舟のエピソードは、これだけではありません。新選組の支援者であった多摩市永山の濱田家にも、鉄舟が菊を観に立ち寄ったエピソードが伝えられています。このように、意外に鉄舟と多摩のゆかりは深いものがあるのです。

筆者紹介：橋場万里子(はしば まりこ)
パルテノン多摩共同事業体学芸員。東京都立大学、東京医療学院大学、大妻女子大学非常勤講師。

「かぶとむしの林」と大松台小学校3年生

唐木田の原風景と出会え、散策が楽しめる緑地(2)

近藤 眞澄

唐木田駅からエスレート中沢の横を歩いて5分程歩くと「かぶとむしの林」の入口に着きます。木製橋を渡った先にある斜面地が「かぶとむしの林」と名付けられたエリアです。24年前「からきだの道」開園に向け、カブトムシの生息地として整備されました。

開園当初を知る人から「夏に子供たちと楽しんでたカブトムシ捕りができなくなった」と知らされていましたが、めっきり成虫を見かけなくなっていたので、「からきだの道の会」で何とか回帰を図ろうと再生に向けた取り組みが始まりました。

図書館で児童書の図鑑や Web サイトを閲覧し、実際に飼育している方に話を伺ったりしてカブトムシの生態や育て方を学んだ後、腐葉土作りにトライしました。翌夏、大量の腐葉土の中に産卵を期待しましたが、その翌々年も幼虫の姿は見られず、諦めムードが漂う中、なんと3年目におびただしい数の幼虫がひしめき合っていました。名実ともに「かぶとむしの林」としてよみがえったと思えた瞬間でした。

その頃、大松台小学校3年生向けのカブトムシの幼虫供給をグリーンボランティア仲間の「一本杉公園みどりの



「かぶとむしの林」での校外学習

会」から引き継ぐことになりました。学校側からは『総合的な学習の時間』の一環として、昆虫を育てることを通じて地域の自然への興味を持てるような取り組みとしたいとの意向を受け、2018年度より概ね下記の『カブトムシの授業』がスタートしました。

・幼虫を育てる(4月)

教室にて「からきだの道の会」メンバーからカブトムシの生態と雑木林の関係の話聞いた後、「かぶとむしの林」にて幼虫を受け取り、飼育と観察を始めます。

・成虫を放つ(7月)

「かぶとむしの林」にて自然放虫します。樹の根元に置いた成虫はゆっくり上へと登り、児童たちが見守る中、飛び立ちます。(羽化していない場合も林内に戻します。)

・産卵と幼虫の棲み家作り(12月)

「かぶとむしの林」にて腐葉土作りのための落葉掻きを体験します。

・2年生に発表(2月)

カブトムシや雑木林について自ら学習したことを2年生に発表します。

以上のステップを経て次年度に引き継がれますが、2020年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け実践できませんでした。その代わりに、「かぶとむしの林」内の樹名板(裏面参照)を3年生全員が制作取付してくれました。一人一人の個性を感じる作品です。散策がてら足を運んでみて下さい。

筆者紹介：近藤眞澄(こんどう ますみ)
からきだの道の会幹事。パルテノン多摩市民学芸員。IT会社アドバイザー。唐木田在住。

株式会社 麻生 徽章
TEL. 042(374)0330(代)
FAX. 042(374)0477
〒206-0033 東京都多摩市鶴牧6丁目9番地1
E-mail: prize@asou-kisyo.jp

営業品目
バッジ・メダル
カップ・トロフィー
キーホルダー・タイタック・ストラップ
校旗・社旗・会旗・優勝旗・懸垂幕・横断幕・のぼり・腕章・ワッペン
看板(室内サイン・屋外アートサイン)/デザイン設計 施工

東京都知事許可 一般建設業(般-23)第126872号
●その他各種記念品、特注品も承ります。☆ご用心を心よりお待ちしております。

<http://prize.asou-kisyo.jp/>

新生活
2021年6月30日まで
応援キャンペーン

学割あり!

未来へ NAVI するライセンス
東急自動車学校 多摩市唐木田3-6
tel.042-372-0109

暮らしに寄り添うかかりつけ医
あいクリニック中沢
あいのせーふらいんく

外来 内科・もの忘れ外来
訪問診療 24時間365日対応
初診 Web予約可能

042-311-2820(代表) 多摩市中沢2-5-3 ゆいま〜る中沢A棟1階

LINK FOREST
4月に宿泊研修施設としてオープンしました!
一般の個人の方の利用も承ります

詳細はこちらから→

KDDI KDDIラーニング株式会社
多摩市鶴牧3-5-3 TEL:042-307-7712
<https://link-forest.jp>